



富士の子だより

第1号

静岡県立富士特別支援学校

令和 7年 4月 25日

「お互いを尊重し合える学校」

校長 高田 宗享

小学部 159 人、中学部 92 人、高等部 118 人、計 369 人の児童生徒数で令和 7 年度のスタートをきりました。今年度の学校運営テーマは「お互いを尊重し合える学校」です。

下のイラスト&吹き出しにあるような学校を目指していきます。



富士特別支援学校の活動に御理解、御協力いただきますようお願いします。

★29人の教職員が着任して、
令和7年度が始まりました★



どうぞよろしくお願いします。

校長（高田宗享） 事務長（望月理恵）
教頭（山崎美穂子） 副校長（稲葉克枝）

<令和7年度 グランドデザイン・学校経営紹介>

学校教育目標『富士に向かって はばたく たくましく 生きる人』を育てる
学校教育目標をめざし、「守る」・「育む」・「つなげる」の3つの柱を立てて取り組んでいます。

- ・【守る】安心安全な学校づくりとして、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう、環境を整えていきます。児童生徒の人権を大切にした支援や指導を行っていきます。
- ・【育む】児童生徒が「もっとやってみよう」と意欲の持てる、もっと学びたくなる授業づくりを目指します。
- ・【つなげる】家庭・地域・関係諸機関との連携強化を目指し、校内外の支援体制や地域人材や資源を活用した取組を充実させていきます。

「富士に向かってはばたく たくましく生きる人」を育てる

小学部
生活の基礎・基本
となる力を身につける

中学部
生活の自立と社会
参加への基本となる
力を身につける

高等部
社会の一員として
身につけた力を発揮する

12年間のつながり 「この時期に これが大事！」



目指す児童生徒像

「分かる・できる」を増やす

考え・伝え・やってみる

みんなで学び、進んで行動する



学校運営を支える 3 つの柱

育む

子どもの「もっと学びたい姿」を目指した
授業づくり

守る

安心・安全な
学校生活づくり

つなげる

家庭・地域・関係諸機関との
連携づくり

ありがとう！

がんばってるね！

いいね！

学校運営のテーマ 「**お互いを尊重し合える**学校」

素晴らしい！

たすかります

<小学部の紹介>

小学部主事 竹下 哲之

学部目標『生活の基礎・基本となる力を身につける』



小学部では、「学校って楽しい!」と思えるような活動にたくさん取り組みます。できたこと・がんばったことをほめられたり認められたりする経験を積み重ねることで、自分から活動に取り組もうとする意欲や、自分の思いを伝える手段を持つ、人との関わりを広げ友達と一緒に活動するなど、将来につながる力を育てていきます。

<目指す児童像>

○「分かる・できる」を増やす(知識・技能)

- ・ 基本的生活習慣を身につける
- ・ 学校生活に必要な力を知り、身につける。

○考え、伝え、やってみる(思考力・判断力・表現力等)

- ・ 自分の意思を伝え、相手の働きかけを受け入れる
- ・ 自分で選び、人やものに働きかける

○みんなで学び、進んで行動する(学びに向かう力、人間性等)

- ・ 教師や友達と一緒に活動する
- ・ 毎日楽しみに登校し、自分から活動する



<中学部の紹介>

中学部主事 渡辺 晴子

学部目標『生活の自立と社会参加への基本となる力を身につける』

中学部は、学級や学年だけでなく、3学年縦割りのグループ学習や学部全体での活動があります。集団の中で自分の力を発揮し、仲間と共に活動することや感謝される経験を通して「やればできる。」「みんなのために頑張ろう。」などと自信をもち自己有用感を高めていきます。また、地域について体験的な学習を実施し、社会とのつながりをもてるようにしていきます。

<目指す生徒像>

○「分かる・できる」を増やす(知識・技能)

- ・ より良い生活習慣を身につける
- ・ 生活に必要な力を身につける。

○考え・伝え・やってみる(思考・判断・表現力等)

- ・ 適切なコミュニケーションの方法を身につける
- ・ 学んだことを使って、仲間と様々な活動に取り組む

○みんなで学び、進んで行動する(学びに向かう力、人間性等)

- ・ 自分の良さに気付き、互いを認め合う
- ・ 役割が分かって、進んで行動する。



大淵クリーン作戦
～地域をきれいにしよう!～



ほうじ茶をつくろう



新富士駅でインタビュー



製紙工場の見学



音楽発表会 TYUON



中学部運動会

<高等部の紹介>

高等部主事 蛭川 友美

学部目標『社会の一員として身につけた力を発揮する』

高等部では、家庭・学校・地域社会の一員として、生徒が自分の力を発揮できる姿を目指します。生徒の強みや良さを伸ばし、弱みや苦手には対処方法（こうすれば出来る）を身に付ける指導を行います。生徒の気持ちを尊重しながら、生徒と保護者が望む社会生活に近づけるよう、共に取り組んでいきたいと思っています。

生徒のアイデアを取り入れ、生徒が主体的に取り組む活動を通し、喜びややりがいを感じられるよう、学習を積み重ねていきます。青春を謳歌して欲しいと思っています。

<目指す生徒像>

- 「分かる・できる」を増やす（知識及び技能）
 - ・より良い生活を維持する行動を身につける
 - ・地域社会で生活するために必要な力を身につける
- 「考え、伝え、やってみる」（思考力、判断力、表現力等）
 - ・コミュニケーションの力を様々な場面で発揮する
 - ・他者との関係の中で、もてる力を発揮してより良い自分を目指す(自律性)
- 「みんなで学び、進んで行動する」（学びに向かう力、人間性等）
 - ・周囲の人と協働する
 - ・より多くの活動に価値（喜び・やりがい）を見出し、取り組む（継続・自立性）



進路学習で「富士山カード」を製作。自主生産作業で製品づくりに取り組んでいます



「富士特マルシェ（販売会）」多くの方から、働く姿と製品の出来栄を褒めて頂き、ますます張り切って働いています。

<訪問教育の紹介>

訪問教育主任 小林 幸子

訪問教育の目標や目指す児童生徒像は、各学部に進じます。自宅での学習に加え、職場実習や、スクーリングやリモートで通学生と一緒に学ぶこともあります。また、今年度は訪問教育の全員で活動する『訪問運動会』を行います。

仲間や保護者と共に球技やダンス等を楽しむ予定です。

校内スロープの壁面に、訪問教育の児童生徒の作品や授業の様子を紹介する写真を掲示しています。来校時には児童生徒の学習の成果をぜひ御覧ください。



<高等部作業班より 作業製品販売会の予定>

今年度も高等部自慢の作業製品を、富士特マルシェをはじめとして様々な機会や場所で販売します。「もっと輝きたい！チームで！地域で！！」のスローガンを胸に、私たちの素敵な製品を一つでも多く、一人でも多くの方々に手にしてもらえよう、全力で製品づくり及び販売に取り組んでいきます！販売会予定は以下のとおりです。乞うご期待！

- 富士特マルシェ：12月12日(金)、2月13日(金)
- 東雲祭（富士東高）：6月7日(土)
- 大淵ふるさと村：9月12日(金)
- エコフェスタ：10月19日(日)
- 商工フェア：11月1日(土)
- 静銀広見支店：1月23日(金)



富士特ホームページが新しくなりました。日々の活動などを発信しています。ぜひご覧ください！

今年度より、富士の子だよりは、年4回の発行となります。



富士特 HP